

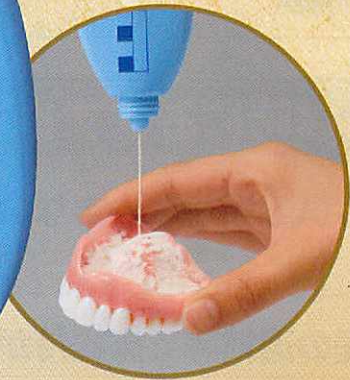


歯科医院様向資料

LION  
歯科用

粘着型義歯床安定用糊材・粉末型

# 新ファーストン



天然原料使用 管理医療機

天然原料使用 管理医療機

粉末タイプ

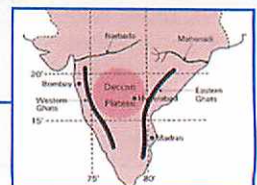
天然原料カラヤガムを使用した粉末タイプの義歯安定剤

唾液や水と水和して、優れた粘着効果を発揮。粉末タイプなので義歯表面に薄く付き、義歯本来の使用感を維持しながら、高い安定効果が得られます。



カラヤガムは、吸水性、保水性、膨潤性に優れ、食品添加物、医薬品等にも使用されています。

カラヤガムはカラヤ樹液を乾燥、精製、製粉、加熱処理してつくられます。カラヤ樹はインドが唯一の産地で、デカン高原に広く分布しています。



# 新ファストン

管理医療機器

JMDNコード 16388010

認証番号 15700BZZ00001000

新ファストンは、水分を含むと粘着力を発揮する天然原料「カラヤガム」により、義歯を一時的に安定させる総義歯用義歯安定剤です。

**義歯床に振りかけるだけ！簡単で使用感に優れた粉末タイプ。**

**特長 1**

**義歯本来の咬合高径の変化が少ない。**

粉末なので義歯表面に薄く付き、義歯本来の咬合高径を維持し、温度感覚の変化も最小限に抑えられます。

**特長 2**

**自然な使用感です。**

天然原料カラヤガムが主成分なので、ネバつかず、自然な使用感です。

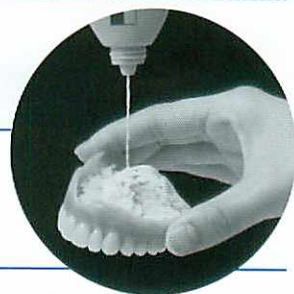
**特長 3**

**装着・清掃が簡単です。**

義歯床に振りかけるだけの使い方が簡単な粉末タイプです。また、水で簡単に洗い落とせます。

**特長 4**

**金属床の義歯にも使えます。**



**こんな時におすすめします！**

**◆新しい義歯がなじまない時に**

新しい義歯が軟組織になじむまでの期間は、患者によって異なります。これが長いと、術者と患者との信頼関係を損なう原因にもなりかねません。義歯がなじむまでの間、新ファストンのご使用が有効です。

**◆顎堤の退縮等で床維持が困難な時に**

顎堤が退縮・吸収し著しく平坦になり粘膜の被圧縮性が低下した方や、唾液が少ない方では、義歯床の維持が困難になります。このような方にも新ファストンのご使用が有効です。

**◆咬合採得、仮床義歯の試適時に**

咬合採得や仮床義歯（ロウ義歯）の試適を行なう場合、適合が不安定だと操作時間を長びかせ、患者に不安感を与えます。特に仮床の安定が不可欠なフェイスボウトランスファーやゴシックアーチトレーシングなどの操作時に新ファストンのご使用をおすすめします。



**■仕様**

商品名	容量	入り数 (内装)	メーカー希望 歯科医院様向け価格	参考価格
新ファストン	25g	10個	455円/個	540円/個
	50g	10個	740円/個	880円/個

※価格には消費税は含まれておりません。



製造販売者 **ライオン株式会社**  
〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7

製造者 有限会社マイヤー化学

# 新ファストン

## 粉末タイプ義歯安定剤「新ファストン」の特性を活かした活用法 ～チェアサイドから患者さん使用まで～

「義歯安定剤を使用することは敗北である」と考えている先生は、意外と多いようです。「患者さんに薦めるのは恥ずかしい」という先生や、「義歯安定剤を不適切に使用することは、粘膜を傷めたり歯槽骨を吸収させるような原因になるので、使うべきではない」と主張する先生もいます。しかし、その反面、場面に応じてうまく活用している先生も多くいると思います。

私は、適切な使い方を患者さんに伝え、自分自身も臨床の中で有効に活用するのが良いと考えています。特に「新ファストン」は、義歯床にふりかけて使う粉末タイプですから、薄く付いて、少し多めに使用しても、咬合関係に影響を与えることはありません。ここでは、「新ファストン」を、歯科医が義歯製作時や調整時に有効に使うこと、そして、患者さん自身が現在の義歯の状態を確認しながら適切に使用していくことなどを紹介していきたいと思います。



村岡歯科医院  
院長 村岡 秀明先生

## 1. チェアサイドでの活用

### 1 咬合採得時

咬合採得時には、咬合床が安定した状態であることが大切で、安定が悪いと咬合採得に時間がかかり、狂いも生じやすくなります。上顎の仮床が落ちそうになると、患者さんは適切な顎位で咬合しませんし、特に顎堤の吸収が激しい症例などでは、仮床の適合が難しくなりがちです。そのため、一見咬合採得がうまく行なわれたようでも、仮床が顎堤から浮いていたり、見えない状態で移動していることも多いのです。維持装置のついていない部分床の仮床でも同じようなことが起こります。そのような時「新ファストン」が有効です。仮床が安定した状態を維持し、手際よく咬合採得が行なえます。仮床の内面に厚みが出ることのない粉末タイプならではの活用法です。「新ファストン」は、水や唾液と水合して粘着力を発揮するので、スプレーで湿らせて使用しています。(図1a、b)



図 1a. 「新ファストン」を軽くふりかける



図 1b. スプレーをかけ湿らせてから口腔内へ

## 2 試適時

人工歯が配列されたら、試適を行ないます。まだ蟻義歯ですから、完成義歯に比べると仮床の安定が悪いことは往々にしてあります。患者さんに配列状態を見てもらおうとしたときに、上顎義歯が落ちてきたり、下顎義歯が浮き上がったりすると、いちいち弁解をしなければなりませんし、患者さんを不安にさせてしまいます。また、臼歯部の咬合接触が実はうまく合っていないのに、仮床が浮いてしまっていると、一見合っているように見えてしまい、装着の時に大変なことになってしまいます。そんな時も「新ファストン」を活用すると、試適をスムーズに的確に行うことができるのです。

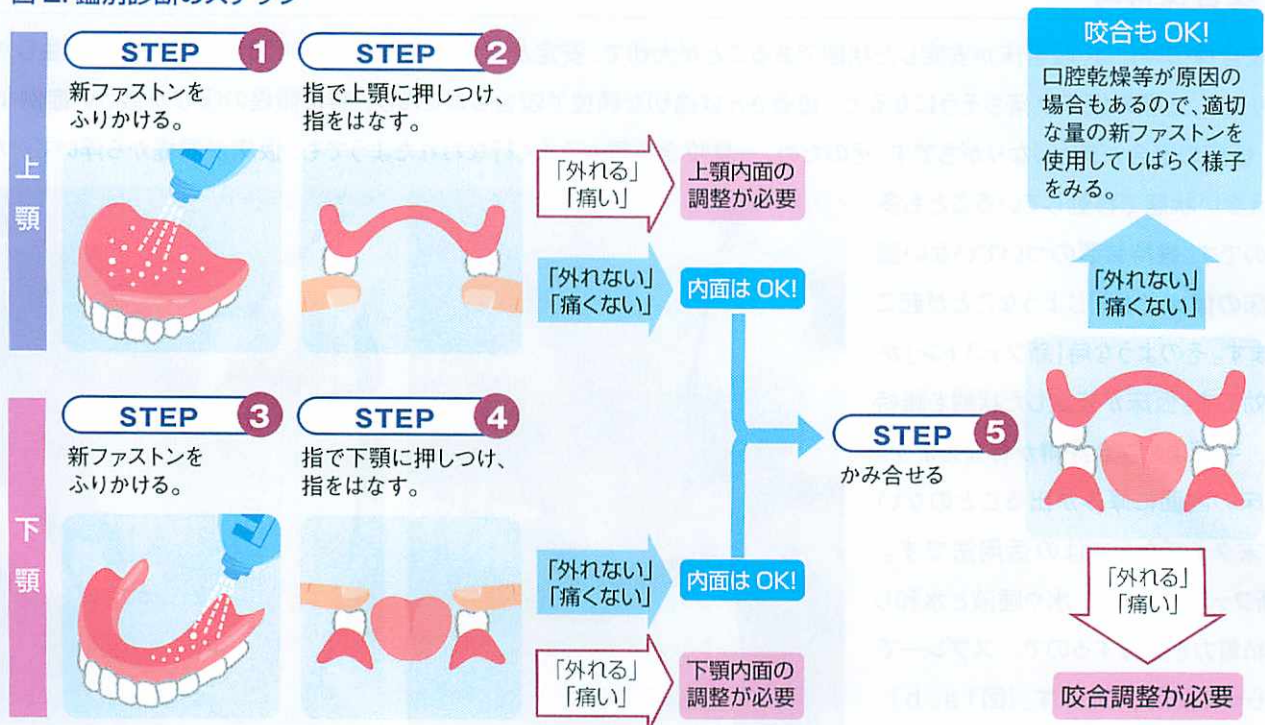
## 3 「新ファストン」を使った鑑別診断～不調の原因は咬合面か？ 粘膜面か？～

「義歯が外れる」「当たって痛い」と言って患者さんが来院してきました。義歯と顎堤粘膜の適合が悪くなっていると外れるようになるでしょう。また、義歯内面に問題があり、どこかヶ所が強く粘膜に当たっていると、痛くなります。しかし、適合は良いのに、義歯内面には問題がないのに、また口腔内にも炎症等は見られないのに、「外れる」「痛い」と言って度々来院してくる患者さんがいます。

多くの場合、それは咬合に問題があるのです。咬合の不備により、義歯が動かされて「外れる」「痛い」ということが起こります。義歯内面か咬合か、どちらに問題があるのか見極めが難しそうな時、「新ファストン」を使用して鑑別診断します。上顎義歯の内面に「新ファストン」をふりかけ、口腔内に入れ、咬合面から押してみます。そして指を離してみます。もし痛ければ、内面のどこかに問題がありますし、外れれば義歯内面や辺縁の形態に問題があります。ですが、痛くないし落ちない。そうになると、もう内面の問題ではありません。下顎も同様にまず内面をチェックします。上下顎とも問題がなかったら、次に咬合させてみます。その時に「外れる」「痛い」ということが起こったら、これは咬合関係に問題があり、義歯が動かされてしまっているのです。咬合調整が必要です。口腔内での咬合調整だけでなく、咬合器にリマウントして咬合調整をした方がいいかもしれません。(図2、3)

もし、「新ファストン」をふりかけて、上下の義歯を口の中へ入れて、咬合させてみて問題がないようであれば、しばらく様子を見た方が良さそうです。使っているうちに義歯はだんだん安定してきますので、安定するまで、「新ファストン」を患者さんにお使いいただくのもいいでしょう。

図2. 鑑別診断のステップ



### 図3.リマウントをすると初めてわかる義歯の動き

口の中だけで咬合調整をするなら、「新ファストン」により、床を安定させて行うことが重要

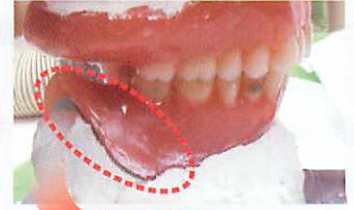
①咬合紙をかませると、上下の義歯の咬合面は接触しているように見える



②咬合せなければ浮き上がりも見られない



③しかし咬合せると、下顎右側後縁部が、浮き上がっている。



④そこで、下顎左側を咬合調整



⑤今度は咬合せても浮き上がらない



よく見ると、咬合せなければ浮き上がらなかった辺縁が、咬合により浮き上がっている



図4.実際に患者さんの前で義歯に「新ファストン」をふりかけて、使用量を見られます。

## 2. 患者さんの日常的な使用

### 1 薄く付くから安心して薦められる

繰り返しになりますが、粉末タイプの「新ファストン」は義歯床に薄く付き、義歯本来の形状や咬合関係にほとんど影響を与えることはありません。そのため、骨吸収のような為害作用も少なく、安心して患者さんに使ってもらうことができます。もちろん他のタイプの義歯安定剤でも正しい使い方ができれば問題はありません。ですが、患者さんに義歯安定剤をうまく使ってもらうのはなかなか難しいものです。患者さんが自分で選んだ義歯安定剤を厚く塗りすぎ、特に隙間のないところにまで塗りすぎて、状態を悪化させてしまうということもあります。その点「新ファストン」であれば誤った使用も起きにくいので、義歯安定剤を使いたいという適応症例の患者さんには「新ファストン」をお薦めしています。(図4)

新ファストンを使う患者さんには、「これで安定しなくなったら、入れ歯の調整が必要な時期なので来院してくださいね」と促します。義歯に不具合を感じたら、やはり患者さんには歯科医院に来て、適切な処置を受けていただきたい。その点からも、薄く付く「新ファストン」は、患者さんに調整が必要な状態に気付いてもらうきっかけになり、有効です。

### 2 使い方が簡単で患者さんも使いやすい

「新ファストン」のもう一つの利点は、使い方が簡単ということです。洗浄した後などの濡れた義歯にふりかけるだけなので、義歯の水気を拭き取ったり、安定剤を塗り広げたりする手間がらず、患者さんも使いやすいようです。また、使用後は水で容易に洗い落せるので、手入れも簡単です。使用する前にはうがいなどして口腔内も湿らせておくか、粉末をふりかけた義歯に軽く霧吹きするといいようです。

### 3 こんな患者さんにお薦め

新しい義歯は表面が滑沢で、使い始めは口に馴染まず、違和感を感じやすいものです。そういうときには、患者さんが装着感に慣れるまで「新ファストン」を使ってもらうことがあります。また義歯を調整するほどではないけれど、なんとなく外れそうな感じがして不安だとか、少し隙間ができ始めた患者さん、普段は必要ないけれど、同窓会や旅行などのイベントのときだけは、義歯が動かないように万全を期したい、というような患者さんにもお使いいただくと良いと思います。顎がやせて粘膜面が平坦になってしまった患者さんや、口腔乾燥が著しい患者さんでは、どんなによくできた義歯でも安定を維持するのは難しくなります。このような患者さんも「新ファストン」の適応症例でしょう。

### 3.最後に

咬合採得や試適の際に義歯が不安定であったり、義歯が「外れる」「痛い」といった不調の原因を見誤ると、チェアタイムを長引かせてしまいます。場合によっては的確な処置に至らず、歯科医院にとっても患者さんにとっても、不利益となってしまいます。また、患者さんがご自身の判断で義歯安定剤を使い、余計にかみ合わせを悪くし、骨吸収を起こしてしまうと、それは患者さんにとって不幸なことです。

義歯安定剤を使わなくて済めば、それにこしたことはないのかもしれませんが、しかし、実際の臨床では、難しい状況に接することが多々あります。そんな時、こだわりを捨て、「新ファストン」の力を借りて良い結果を出すことも必要だと思います。また、患者さん本人への指導はもちろん、通院が不可能な方もおりますので、そのような患者さんには、家族の方に適切な「新ファストン」の使い方をお教えすることも、歯科医の仕事だと思っています。

ご紹介した活用場面を参考にいただき、粉末タイプの特性を活かしながら、義歯安定剤「新ファストン」を、有効に活用していただければと思っています。

#### 村岡秀明先生 プロフィール

1947年 千葉県市川市生まれ  
 1972年 神奈川歯科大学卒業  
 東京都中央区京橋村岡歯科医院勤務  
 1980年 千葉県市川市(現在地)で村岡歯科医院を開業  
 1995~6年度 日歯生涯研修セミナー講師

現在、日本顎咬合学会指導医

主な著書 「保険の総義歯をどう作るか」ヒョーロン・パブリッシャーズ  
 「村岡秀明の総義歯図鑑」デンタルダイヤモンド社  
 「村岡秀明の総義歯咬合採得咬合調整」デンタルダイヤモンド社  
 「総義歯臨床 ワンポイントQAブック」ヒョーロン・パブリッシャーズ  
 「総義歯吸着への7つのステップ」ヒョーロン・パブリッシャーズ  
 他多数

### 粘着型義歯床安定用糊材・粉末型 **新ファストン**

#### ■特長

- 1.粉末なので義歯床に薄く付き、義歯本来の咬合高径を維持します。
- 2.天然原料カラヤガムが主成分で、自然な使用感です。
- 3.濡れた義歯にふりかけるだけの、簡単な使い方。  
使用後は水で簡単に洗い流せます。
- 4.金属床の義歯にも使えます。

#### ■仕様

商品名	容量	入り数 (内装)	メーカー希望 歯科医院様向け価格	参考価格
<b>新ファストン</b>	25g	10個	455円/個	540円/個
	50g	10個	740円/個	880円/個

※ 価格には消費税は含まれておりません。



管理医療機器

JMDNコード 16388010

認証番号 15700BZZ00001000

製造販売者 ライオン株式会社  
 〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7